

すいとぴあ江南の今後についての座談会結果

◆実施の目的

市では、江南市公共施設再配置計画で定めたすいとぴあ江南の今後の方向性を令和8年度に決定することとしています。

方向性の決定において、北部地域が描くビジョンやその中ですいとぴあ江南が果たすべきミッションについて整理し、施設稼働状況など客観的な指標や公共施設更新問題を踏まえ、賑わいの拠点やシンボル等の必要な機能について、意見をお聞きし今後の方向性の検討に活用します。

日時	令和7年7月17日（木） 午前10時00分～
場所	江南市防災センター 3階 仮眠待機室
参加者	民生委員児童委員協議会役員 6人

◆開催日時及び参加者

プログラム

1	はじめに	5分
2	すいとぴあ江南の今後について	10分
3	座談会	60分

◆すいとぴあ江南の今後についての概要

すいとぴあ江南の今後について、すいとぴあ江南の維持費用や利用状況、今後の検討における市の考え方などを説明しました。

【今後の検討における市の考え方】

○すいとぴあ江南の位置づけ

財源不足によりすべての公共施設を現在と同規模で維持・更新することができない状況のため、行政関与の必要性が高い小中学校、保育園などを優先し、行政関与の必要性が低いすいとぴあ江南は維持・更新が難しい施設。

○すいとぴあ江南の将来像

近隣施設や遊歩道・サイクリングロードと連携し、木曽川の自然を楽しむ水と緑のネットワークを形成し多くの人に親しまれる場所にしたい。

◆座談会

テーマ 「北部地域の将来の姿」

- 【キーワード】
- ・すいとぴあ江南の将来
 - ・多くの人に親しまれる場所
 - ・シンボル、賑わいの拠点

座談会のテーマ、キーワードを念頭に置いていただきながら、面積3haある「すいとぴあ江南」が今後どのような場所になるといいか、担う役割や機能について、ご意見を伺いました。

○座談会の様子



○意見（抜粋）

○にぎわいの創出について

- ・スポーツ施設やグランドがあると良い。利用申請なども、現地で受け付けなどができると利用しやすくなる。
- ・マルシェ開催時は多くの人で賑わっているので、そういったマルシェやイベントができる広場やステージなどが引き続きあると良い。

○シンボルとして

- ・あった方が良いが、費用対効果が大切。徐々に施設は古くなっていくので、今後も長い期間多額の費用をかけて、今ままやっていくのはどうかと思う。
- ・木曽川など自然環境を活かして人を呼び込む企画を立ててほしい。

○宿泊施設について

- ・宿泊料金を上げてでも、料理やサービスを充実した方が宿泊者は増えるのではないか。
- ・江南市と同じ規模の市だと宿泊施設は大体あると思うが、市内にビジネスホテルが1つあれば良いので、他の場所でホテルが建てられればそれで良い。
- ・宿泊施設はなくても良い。

○その他

- ・サイクリングコースと区別された安全なウォーキングコースなどがあると、健康維持を目的とした高齢者の利用が見込めるのではないか。

- ・キャンプ場やバーベキュー場であれば、大きな建物を必要としないので良いのではないか。
- ・ウォーキングをする時に、フラワーパークや蘇南公園、または一宮 138 タワーパークを使うが、すいとぴあ江南は選択肢にならない。
- ・市の南部に住んでいると、なじみがなく利用していない。

◆まとめ

民生委員児童委員協議会役員の方々から意見を伺いました。現在はすいとぴあ江南をあまり利用していないことから、どのような施設であれば利用するかについて様々な意見をいただきました。

利用したくなる機能については、マルシェなど市民が気軽に足を運べるようなイベントができる場所や、バーベキュー場などの木曽川の自然環境を活かした場所としてはどうかという意見がありました。

今後の検討においても、すいとぴあ江南を含む北部地域全体の将来像を「多くの人に親しまれる場所」「江南市のシンボル」「賑わいの拠点」といったキーワードを念頭に置きつつ、財政面や地域のニーズなども総合的に勘案し、持続可能な形で地域の魅力を高められるよう、市民の皆さんの意見をうかがいながら検討を進めていきたいと考えています。